

図書館だより

枚方市立図書館通信第 108 号 <http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/citybrand-kyouikubunka/tayori.html>

発行：平成 27 年 12 月 枚方市立中央図書館（休館日：毎週金曜日、第 4 火曜日、12 月 29 日～1 月 3 日）

〒573-1159 枚方市車塚 2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962



左上：ビブリオバトル、左下：ライブラリー茶会、中央下：ひらりんかたりん人形劇、右上：歌と音楽のおはなし会、右下：新ひなぎく号

10 月 31 日 中央図書館ボランティア「ひらりんかたりん☆絵本といっしょ」

11 月 3 日 「図書館で遠足!？」約 3,200 人の来館者でにぎわいました。

●秋の読書週間（10 月 27 日～11 月 9 日）に中央図書館開館 10 周年記念事業を盛大に開催しました。●まず、10 月 31 日には中央図書館ボランティア、ひらりんかたりんさんが、「ひらりんかたりん☆絵本といっしょ」を開催、人形劇や紙芝居、工作、読み聞かせなどを 262 人の親子連れが楽しみました。●11 月 3 日文化の日には、全フロアで多彩なイベントを開催しました。字幕・音声ガイド付きのバリアフリー映画「ゆずり葉—君もまた次のきみへ」、手話で絵本の読みきかせワークショップ、図書館職員によるビブリオバトル（写真）、ライブラリー茶会（協力：丹羽の会、写真左下）、図書館バックヤードツアー、招提中学校 3 年生の中村あいりさんが賛助出演しての「歌と音楽のおはなし会」（写真右上）など、子どもから大人まで楽しめる一日となりました。また、自動車文庫「新・ひなぎく号」が初登場し図書の貸出も行いました（写真：右下）。寄せられたアンケートでは 90%の人が「図書館に親しみを感じた」との回答でした。

図書館利用Q&A

Q

枚方市立図書館のホームページで蔵書検索していると、書名の前に青色の文字で「S」という記号が付いていました。これって何ですか？
(楠葉在住・Yさん)

A

お問い合わせありがとうございます。ご指摘のとおり、ホームページ上でこの記号の意味を説明しているところはなかったため、以下の説明書きを添えました。

タイトルの前に青文字で「S」の文字がついているものは、予約された場合に、上中下、①②③などの順に用意できるように設定されている、しるしです。

巻順に関係なく用意できた順に受取りたい場合は、受取り希望先の図書館・分室にご相談ください。

「上下巻に分かれている本を予約すると、下巻が先に用意された。これで読書を楽しめるだろうか!？」という声に応えられるよう図書館で検討し、システム変更して4年前から実施しています。当初はさまざまな機会でご案内しましたが、ホームページ上での説明が抜けておりました。

Yさん、これからも枚方市立図書館をどうぞよろしく願いいたします。

「図書館第3次グランドビジョン」パブリックコメント募集

魅力的で、効果的・効率的な図書館運営を安定的に行うための新たなビジョン案をまとめました。みなさまのご意見をお寄せください。

★実施期間：12月4日(金)～12月24日(木)

ホームページまたは、中央図書館、図書館分館・分室カウンターの用紙にご意見をご記入できます。



御殿山図書館読み聞かせ風景

ちょっと【本の紹介】

《白ナイル—ナイル水源の秘密》



アラン・ムアヘッド 著
篠田 一士 訳
筑摩書房

19世紀中頃、暗黒の大陸と呼ばれたアフリカに目を向け始めた西欧の人々の心をかきたてたのはナイル川の水源の謎でした。ナイル川は、長さ約7,000kmで、日本列島（北海道東端から九州西端まで約1,800km）よりもずっと長く、地球の約6分の1周にも及ぶ大河であり、古代エジプト文明を育み、地中海を経てギリシア・ローマ文明にも影響を及ぼしました。つまり西欧文明の母なる大河だったのです。この大河がいったいどこから流れてくるのか、ナイル水源の謎をつきとめることは、文明の源を探索することだったのです。

人工衛星はおろか航空機さえ存在しない当時、険しい地勢や厳しい暑さ、敵対的な原住民、危険な野獣や風土病等に阻まれて、誰一人として成功した者がいなかった試みに挑んだ人々の冒険行とその結末。そして、西欧文明が流入してきた後のナイル流域における各勢力の治乱興亡の歴史が乾いた筆致で綴られています。

少々古い本なので読み通すのは大変ですが、アフリカの歴史に興味を持っていただけることと思います。

(御殿山図書館職員)